

私たちは、命のつながりに思いを馳せる暮らしを提案し、心豊かな生き方のお手伝いをします。

創業 明治44年 命のつながりを想う

発行 有限会社 長門屋
編集：未来の種まき委員会
990-0042
山形市七日町 1-4-12
TEL 023-622-2204
FAX 023-622-2203
http://oshironomise.com
2024年新春 第41号

あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をです方言。米沢の方では住職様、僧侶をですぞうです。
宗教の知識を通してお役にたてれば嬉しいです。



2023年は こんなことがありました！
皆さまからのご厚情に、心より御礼申し上げます。

長門屋の五大ニュース！

1. 広がるリメイク事業。

金仏壇の産地山形ですが、今年は材が堅く職人泣かせの唐木仏壇を小型化するご依頼も沢山いただきました。
ご依頼主は 30 代の女性から 70 代の男性まで幅広く、山形のご実家から市内や都心のマンションへの引越しに伴うご相談など、核家族化や住まい方の変化が反映されています。



「お仏壇の修復・リメイク工房見学会」
(11/25「まちゼミ」)の様子。

2. 「まちゼミ」で「天然の香原料のお話つき匂袋づくり講座」を開催。

(山形市商店街連合会主催。11/23と12/2)



飛鳥時代に仏教とともに日本にもたらされたお香文化。植物性から動物性まで世界の国々から届けられる香原料は、どれも自然からの贈りものです。さまざまな性質を持つお香の素材を配合することで、更に広がる香りの世界を堪能していただきました。



3. Q1にて「親子で楽しむ！数珠ブレスレットづくり」開催。

(やまがたクリエイティブセンターにて。5/20)

はじめにみんなで輪になって巨大な数珠で「数珠まわし」を体験。
色とりどりの石と自分の生まれ年にちなんだ「守り本尊」を組合せ、願いをのせた自分だけの「数珠ブレスレット」が出来上がりました。



新メンバーの白幡京香さん

4. 長門屋に新しい仲間が増えました。

鶴岡市出身で東北芸術工科大学で漆芸を学んできた23歳の白幡さん。配達や納品サポート、店内のお客様対応のほか、時にはお仏壇の障子の貼り替えや瓔珞のつなぎ直しなど手先の器用さを活かした経験を重ねています。

5. 敷地の全体像が分かる「イラストマップ」完成。

長門屋本館店舗の裏側には庭が広がり、その中に寺院や神社や蔵、工房が点在しています。この度、敷地の全体像をのぞいていただけるイラストマップが完成しました。ねこや石仏さまも登場します。
(イラストマップはWebサイト「長門屋とは」に掲載中です。)

WEB サイト



長門屋スタッフ 新年の抱負を込めた「私の一文字」



なごむ
和

紛争や災害が増え、ネット社会が発達した今の時代だからこそ、意図して空や花や緑を眺めるような心和む時間をつくりたいと思います。

笹林陽子



プラス
+

充実した一年を過ごすためにプラス思考、プラス受信で前向きに広い視野を持って仕事、子育てに取り組んでいきたいと思います。

国島潤一



こころ
心

2024 年は地政的経済的リスクが継続され、場合によっては不安が増すかもしれません。しかし、気の持ちようとの言葉もある通り、肯定的に物事を捉えることを大切にしていきたいと思います。

後藤久嗣



もん
門

もんぜんじゃくら
「門前雀羅」… ひっそりしていて閑散と寂しい様子より、
もんぜんせいし
「門前成一」… その家に入出入りする人が多い様子になるよう、
色々なことにチャレンジできればと思います。

小瀧美樹



すすむ
進

世の中の変化や進化を捉えて、私自身も進歩する1年であればと思います。

北條有希



いどむ
挑

2023 年は、新入社員として沢山の事を学びました。
2024 年は、学んだことを活かし新しいことに挑戦していきます。
白幡京香

白幡京香



なし
無

なあにも無い、ないという存在

斎藤金五郎



かん
感

敷地奥のお寺に残されてきた仏具、漆器、陶器、軸などを来年も引き続き整理整頓し、昔の人が大切にしてきた「物」と「心」に感動したいと思います。

山口雪江

山形仏壇の彫刻には「昇り龍・降り龍」がよく使われます。

天高く昇る龍に守られる辰年。

2024 年も、どうぞよろしくお願いたします。